

# 新型コロナウイルス感染症による 住民の意識・行動変化に関するアンケート調査

2020年（令和2年）6月

福山市

（企画政策部企画政策課）

# 目次－CONTENTS－

## 1 アンケート調査 実施概要

## 2 【現状】 普段の生活の変化

- 2－1 家族と一緒に過ごす時間や関係の変化  
感染症が問題になってからの「仕事」や「学生生活」の変化
- 2－2 個人収入・世帯収入の変化

## 3 【今後】 普段の生活の変化

- 3－1 行動範囲の変化
- 3－2 感染拡大の収束後の考え方や行動の変化
- 3－3 旅行など観光に行く頻度  
日本人観光客の受入れについての考え
- 3－4 飲食店などでの外食の頻度  
飲食店などのサービスで実施してほしいこと
- 3－5 感染拡大収束後、何がしたいか
- 3－6 感染拡大収束後の働き方はどうあるべきか  
感染拡大収束後、どのようなことが不安か
- 3－7 今後、社会全体としてどのような取組が重要になるか

# 1 アンケート調査 実施概要

## 調査目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、生活スタイルの激変や地域経済の停滞など本市を取り巻く環境は大きく変わり、住民の生活や経済活動に多大な影響を与えている。

この状況の中で、住民の現状や感染拡大の収束後の意識・行動変化などを把握し、効果的な施策・事業の構築につなげるため実施したものの。

## 調査時期

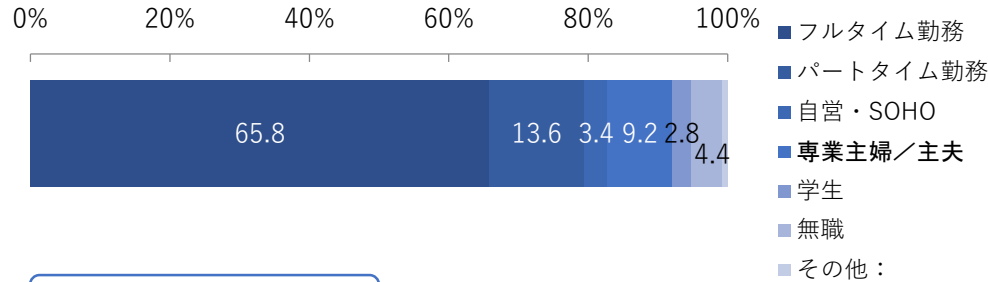
2020年5月29日（金）～6月1日（月）

## 調査対象

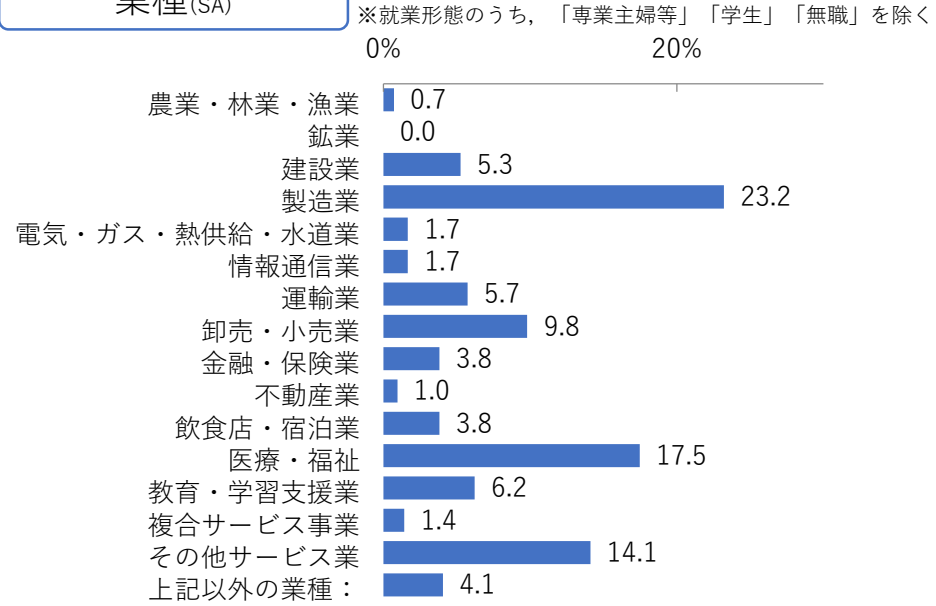
備後圏域の住民（18歳から49歳まで） 500サンプル  
 ※対象自治体間の人口や男女の比率を考慮

		n %	三原市	尾道市	福山市	府中市	世羅町	神石高原町	笠岡市	井原市
全体		500 100.0	55 11.0	80 16.0	280 56.0	22 4.4	7 1.4	4 0.8	26 5.2	26 5.2
性年代	男性 18 - 29歳	65 100.0	5 7.7	9 13.8	42 64.6	3 4.6	1 1.5	0 0.0	1 1.5	4 6.2
	男性 30 - 39歳	110 100.0	14 12.7	19 17.3	56 50.9	5 4.5	1 0.9	1 0.9	8 7.3	6 5.5
	男性 40 - 49歳	75 100.0	8 10.7	12 16.0	42 56.0	3 4.0	1 1.3	1 1.3	4 5.3	4 5.3
	女性 18 - 29歳	75 100.0	9 12.0	12 16.0	43 57.3	3 4.0	1 1.3	0 0.0	4 5.3	3 4.0
	女性 30 - 39歳	100 100.0	11 11.0	16 16.0	55 55.0	5 5.0	2 2.0	1 1.0	5 5.0	5 5.0
	女性 40 - 49歳	75 100.0	8 10.7	12 16.0	42 56.0	3 4.0	1 1.3	1 1.3	4 5.3	4 5.3

## 就業形態(SA)



## 業種(SA)

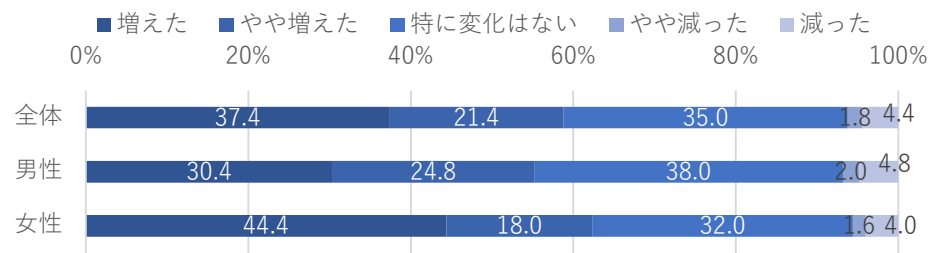


※「上記以外の業種」：公務が多く、その他保育やリサイクルなど

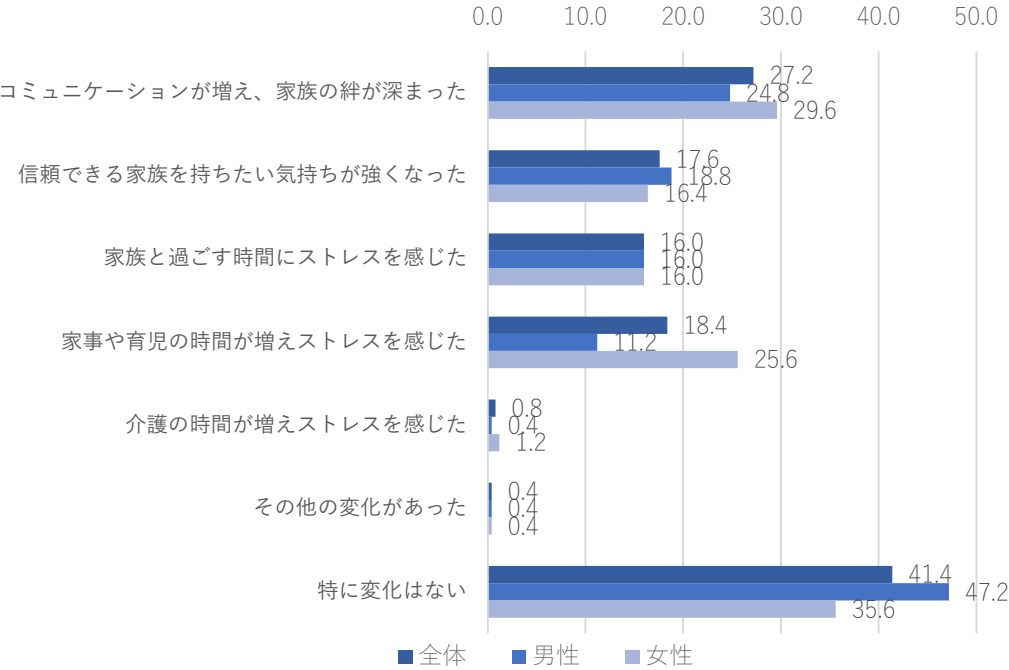
# 2-1 【現状】普段の生活の変化

- ・家族と一緒に過ごす時間の変化について、約6割が増えた（「増えた」「やや増えた」）と回答している。このうち、「増えた」と回答した割合は、男性と比べ、女性の方が14%高い。
- ・家族との関係の変化では、「家事や育児の時間が増えストレスを感じた」が男性に比べ女性の割合が高く、差が大きい。男性の家事・子育て参加を促進し、女性の負担軽減に取り組む必要がある。
- ・また、仕事の変化では、全体で2割程度テレワークが活用され、特に、教育・学習支援業、金融・保険業で割合が高い。

家族と一緒に過ごす時間の変化（昨年比）(SA)



家族との関係の変化（昨年比）(MA)



感染症が問題になってからの「仕事」の変化(MA)

	テレワーク（在宅勤務）をするようになった	WEB会議を活用するようになった（頻度が増えた）	時差通勤をするようになった	仕事量が減った	仕事量が増えた（忙しくなった）	その他の変化があった	特に変化はない
全体	17.7%	10.5%	5.3%	28.0%	9.8%	2.2%	44.0%
農業・林業・漁業	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%
建設業	22.7%	13.6%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%	54.5%
製造業	17.5%	20.6%	5.2%	32.0%	6.2%	1.0%	43.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%
情報通信業	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	57.1%
運輸業	8.3%	4.2%	0.0%	37.5%	4.2%	0.0%	50.0%
卸売・小売業	12.2%	9.8%	4.9%	31.7%	19.5%	4.9%	29.3%
金融・保険業	43.8%	18.8%	6.3%	25.0%	12.5%	0.0%	43.8%
不動産業	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
飲食店・宿泊業	12.5%	6.3%	6.3%	75.0%	0.0%	6.3%	12.5%
医療・福祉	6.8%	1.4%	2.7%	17.8%	13.7%	1.4%	64.4%
教育・学習支援業	46.2%	7.7%	19.2%	19.2%	15.4%	3.8%	23.1%
複合サービス事業	33.3%	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%
その他サービス業	15.3%	5.1%	5.1%	32.2%	11.9%	3.4%	37.3%
上記以外の業種	23.5%	5.9%	5.9%	17.6%	17.6%	5.9%	47.1%

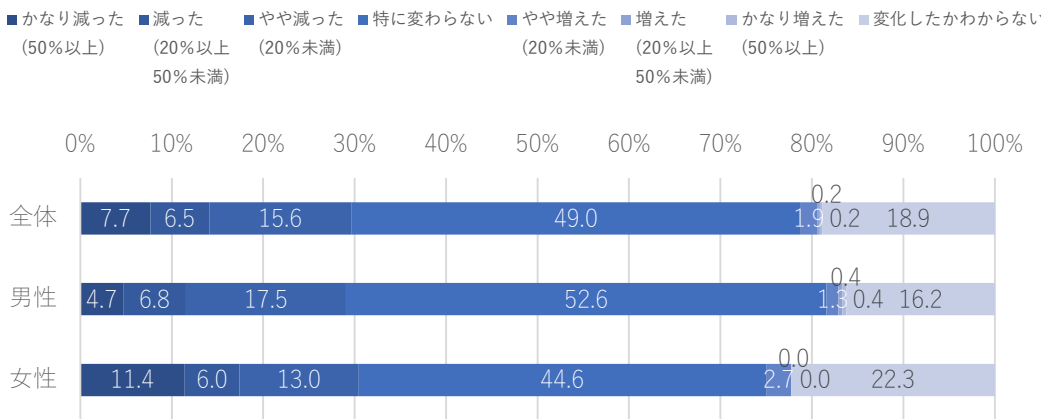
感染症が問題になってからの「学生生活」の変化(MA)

	オンライン学習をするようになった	WEB会議を活用するようになった（頻度が増えた）	時差通学をするようになった	仕事量（アルバイト）が減った	仕事量（アルバイト）が増えた（忙しくなった）	その他の変化があった	特に変化はない
学生	85.7%	14.3%	0.0%	42.9%	14.3%	7.1%	0.0%

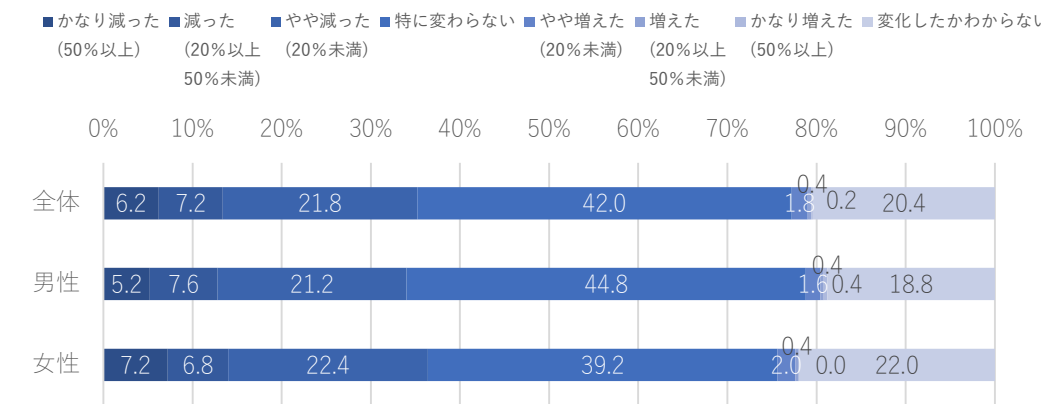
# 2-2 【現状】普段の生活の変化

- 個人収入は、約3割が減ったと回答しており、特に女性で「かなり減った（50%以上）」と回答する割合が高い。
- 世帯収入は、減ったと回答した者が35.2%で、減った者のうち20%以上の減少が13.4%となっている。一方で、42%は特に変わらず、変化したかわからないと回答した者も20%いる。
- 個人収入の変化を業種別に見ると、飲食店・宿泊業で、20%以上減少した者が特に多く、43.8%となっている。これらの感染拡大による影響が特に大きい業種への支援が求められる。

### 個人収入の変化(SA)



### 世帯収入の変化(SA)



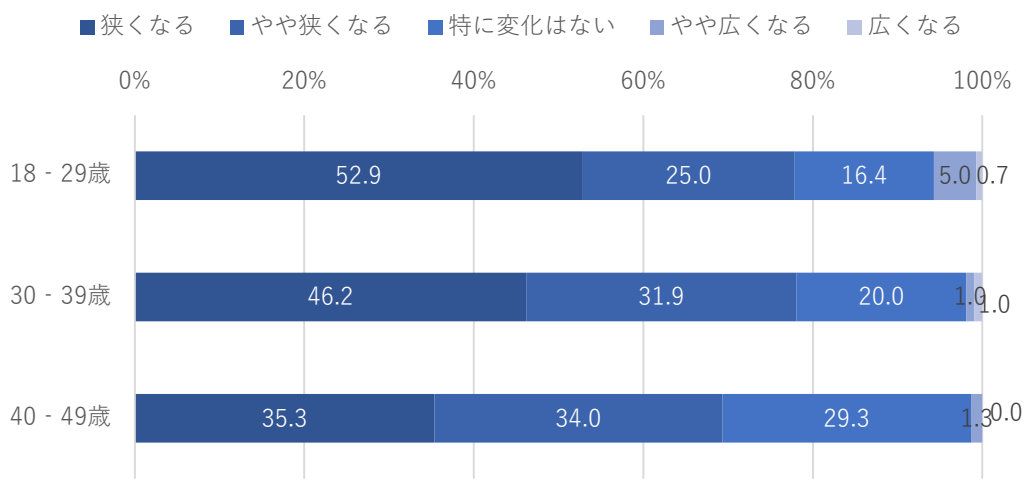
### 個人収入の変化（業種別）(SA)

	かなり減った (50%以上)	減った (20%以上 50%未満)	やや減った (20%未満)	特に変わらない	やや増えた (20%未満)	増えた (20%以上 50%未満)	かなり増えた (50%以上)	変化したかわからない	計
農業・林業・漁業	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
建設業	4.5%	9.1%	9.1%	50.0%	4.5%	0.0%	0.0%	22.7%	100.0%
製造業	4.1%	5.2%	23.7%	48.5%	3.1%	0.0%	0.0%	15.5%	100.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	100.0%
情報通信業	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	100.0%
運輸業	8.3%	4.2%	29.2%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
卸売・小売業	4.9%	12.2%	12.2%	46.3%	0.0%	2.4%	0.0%	22.0%	100.0%
金融・保険業	0.0%	6.3%	18.8%	56.3%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	100.0%
不動産業	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
飲食店・宿泊業	18.8%	25.0%	6.3%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	100.0%
医療・福祉	8.2%	2.7%	12.3%	54.8%	1.4%	0.0%	0.0%	20.5%	100.0%
教育・学習支援業	3.8%	0.0%	15.4%	53.8%	3.8%	0.0%	0.0%	23.1%	100.0%
複合サービス事業	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	100.0%
その他サービス業	22.0%	5.1%	10.2%	45.8%	0.0%	0.0%	1.7%	15.3%	100.0%
上記以外の業種	0.0%	5.9%	5.9%	70.6%	5.9%	0.0%	0.0%	11.8%	100.0%

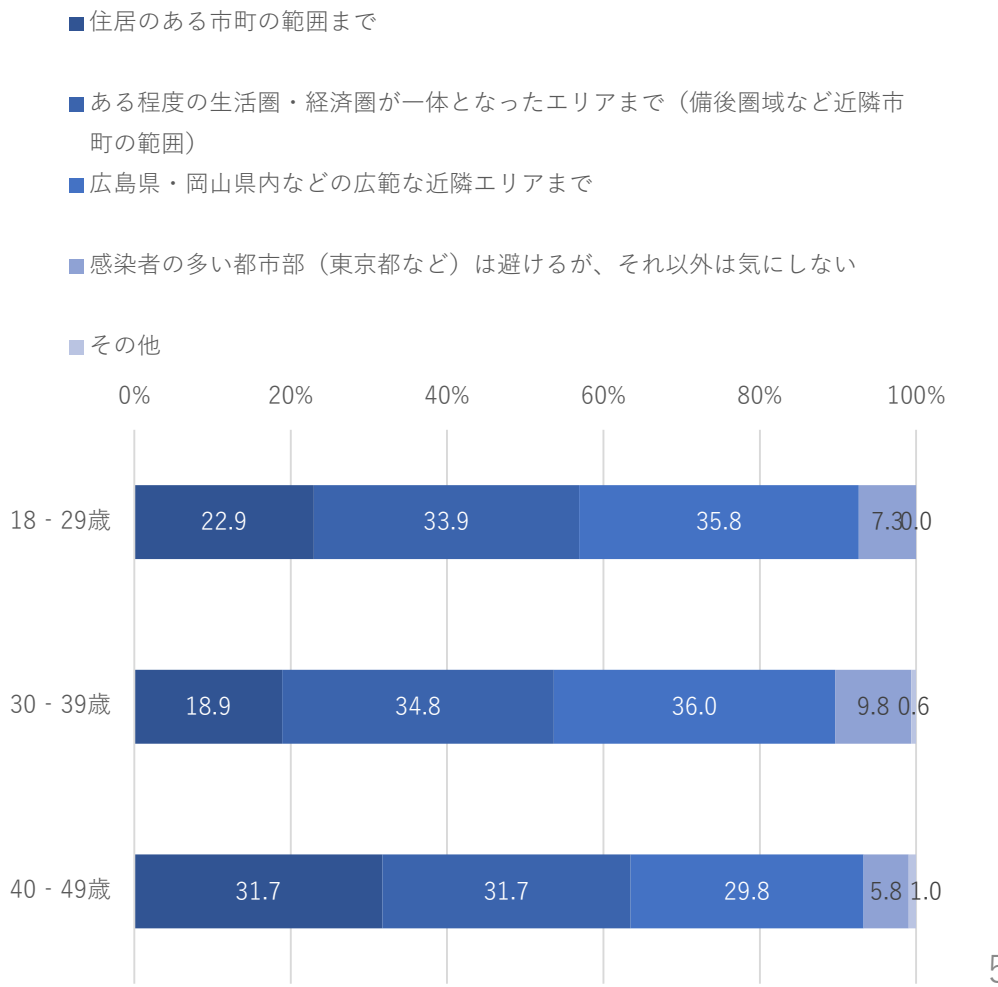
# 3-1 【今後】普段の生活の変化

- ・今夏以降の行動範囲は、昨年と比べて、約8割が狭くなる（「狭くなる」「やや狭くなる」と回答している。特に若い世代（18-29歳）で、「狭くなる」と回答した割合が高い。
- ・また、行動範囲の程度（エリア）では、約6割が備後圏域など近隣市町の範囲までで、広島県や岡山県内までに範囲を広げると約9割に達する。
- ・観光などの取組の推進にあたっては、備後圏域や近県と連携した周遊観光の視点が重要となる。

行動範囲の変化（昨年比）（今夏以降から今年度末まで）(SA)



行動範囲の程度（エリア）の変化(SA)



## 3-2 【今後】普段の生活の変化

- ・感染拡大の収束後の考え方や行動の変化では、「ネットショップでの購入が増える」43.6%、「健康への関心が高まる」31.2%、「メディア接触が増える」30.0%と続く。
- ・年代による差を見ると、「公共交通は避け、自家用車や自転車の活用が増える」について、若い世代（18-29歳）ほど高く、40-49歳と比べると15%の差がある。地域公共交通の維持のためには、若い世代への公共交通の利用促進が必要となる。

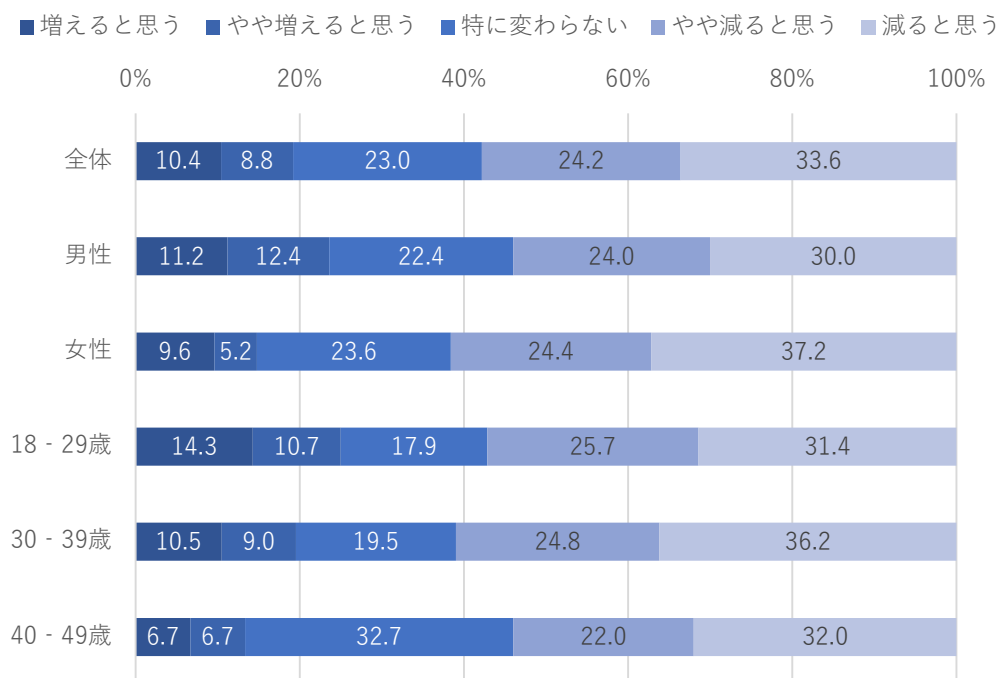
### 感染拡大の収束後の考え方や行動の変化（昨年比）(MA)

		n	家族の重要度が増す	都会より自然豊かな場所	公共交通の活用が	健康への関心が高まる	自宅外での運動機会が	自宅内での運動機会が	趣味への投資が減るものなど	ネットショップでの購入	SNSなどが増える	メディア接触	その他	特に意識や行動は変わ	わからない	(%)
全体		500	26.2	14.4	24.6	31.2	17.6	14.8	18.6	43.6	30.0	0.0	11.4	7.4		
性別	男性	250	22.4	12.4	27.2	29.2	17.2	14.0	18.4	38.0	24.4	0.0	14.0	7.6		
	女性	250	30.0	16.4	22.0	33.2	18.0	15.6	18.8	49.2	35.6	0.0	8.8	7.2		
年代	18 - 29歳	140	26.4	15.0	33.6	35.0	17.1	18.6	21.4	40.7	34.3	0.0	8.6	7.9		
	30 - 39歳	210	28.6	14.3	23.3	30.0	21.9	13.3	19.0	52.9	29.5	0.0	9.5	5.7		
	40 - 49歳	150	22.7	14.0	18.0	29.3	12.0	13.3	15.3	33.3	26.7	0.0	16.7	9.3		

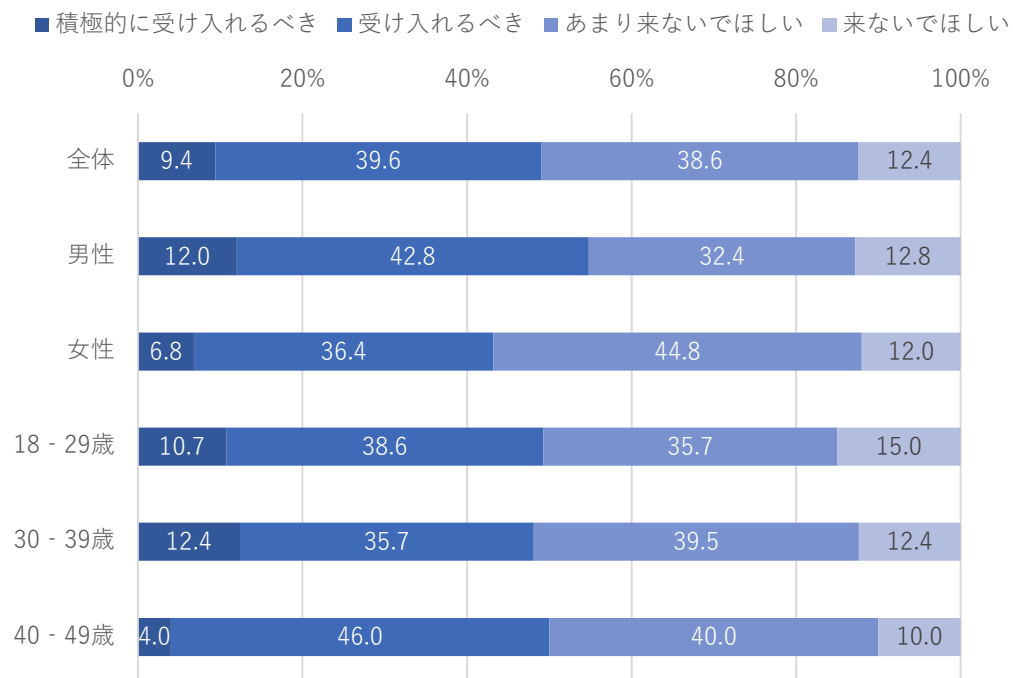
### 3-3 【今後】普段の生活の変化

- ・昨年と比べた旅行など観光に行く頻度では、約6割が減ると思う（「減る」「やや減る」）と回答している。性別で見ると、男性の54%に比べ女性が61.6%と、その割合がやや高い。
- ・感染拡大の収束後の日本人観光客の受け入れについての考えでは、「受け入れるべき」と「来ないでほしい」の割合は半々となっている。性別で見ると、男性に比べ、女性で「来ないでほしい」の割合が高い。
- ・今年度は、観光客の受入れについて、否定的な意見があることに留意する必要がある。

旅行など観光に行く頻度（昨年比）(SA)



収束後の日本人観光客の受入れについての考え(SA)

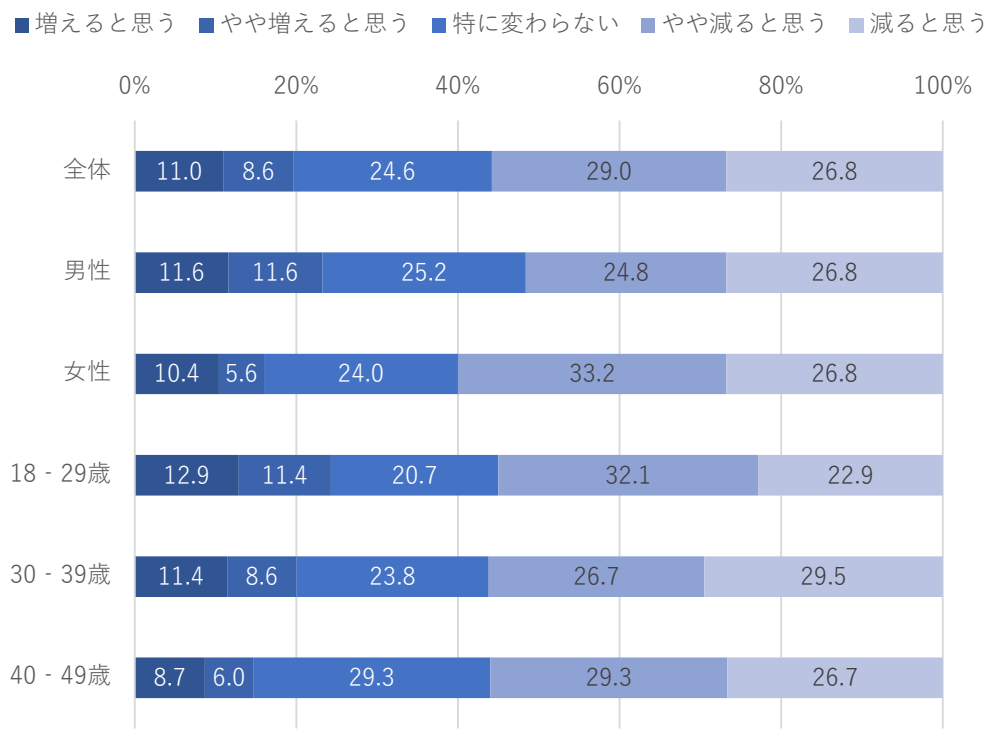




# 3-4 【今後】普段の生活の変化

- ・昨年と比べた飲食店などでの外食の頻度では、約6割が減ると思う（「減る」「やや減る」）と回答している。観光と同様、男性の51.6%と比べ女性が60%と、その割合がやや高い。
- ・飲食店などのサービスで実施してほしいことでは、「テイクアウト事業の実施」56.8%、「ゆとりのある席の空間の確保」51.6%、「キャッシュレス決済の導入」49.2%と続く。なお、ほとんどの項目で若い世代（18-29歳）の割合が高い。
- ・飲食店は、感染拡大により収入の減少が大きく、今後の利用頻度も昨年に比べ減る。住民のニーズに応じた対策が急務となる。

飲食店などでの外食の頻度（昨年比）(SA)



飲食店などのサービスで実施してほしいこと(MA)

	n	(持ち帰りメニューの実施)	配りの実施(宅配)	店の確保(飲食スペースなど)	オートの確保(カウンターなど)	隔りの確保(あなごの間)	ゆとりの確保(席の間)	シヨンの確保(設置)	(非接触メニューの導入)	その他	特にない
全体	500	56.8	38.6	23.8	51.6	25.4	49.2	1.0	11.2		
性別	男性	250	46.0	35.6	22.0	46.0	22.0	50.4	0.8	14.8	
	女性	250	67.6	41.6	25.6	57.2	28.8	48.0	1.2	7.6	
年代	18-29歳	140	61.4	46.4	26.4	54.3	23.6	54.3	0.0	10.7	
	30-39歳	210	58.1	39.5	26.7	52.4	25.7	50.0	1.4	11.0	
	40-49歳	150	50.7	30.0	17.3	48.0	26.7	43.3	1.3	12.0	

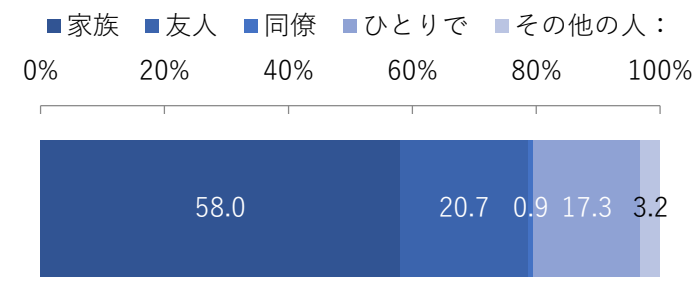
# 3-5 【今後】普段の生活の変化

- ・感染拡大の収束後、何がしたいかを1位から3位までの優先順位で聞くと、1位は「旅行に行きたい」で33%となっている。
- ・また、1位から3位までを通して見ると、旅行のほか「外食したい」「家族等と過ごす時間を大切にしたい」が多い。
- ・1位の項目について、年代で見ると「旅行に行きたい」では、18-29歳が40-49歳と比べ10%程度、割合が高く、「外食したい」では、逆に40-49歳が18-29歳と比べ14%程度、割合が高い。希望の行動を促すためには、施策のターゲット設定が有効となる。

感染拡大収束後、何がしたいか（1位から3位）(SA)

	n	間過家を ご家族と 過ごす 時間を 大切に したい	旅行に 行きたい	るも たの い な （ ） な ） 趣 味 に 関 す	イ ベ ン ト な ど に 参 加	な カ ラ オ ケ や 映 画 館	外 食 し たい	た い き な も の を 購 入 し	い た め （ ） の を 購 入 し	貯 起 蓄 こ し か い （ ） 今 後 な 何	そ の 他	特 に な い	(%)
1.1位	500	15.6	33.0	7.4	5.8	11.2	5.6	14.4	0.8	6.2			
2.2位	500	12.8	17.6	9.2	13.6	20.0	9.0	8.8	0.4	8.6			
3.3位	500	11.4	11.8	11.0	14.0	16.0	11.4	11.4	0.4	12.6			

1位について、特に誰としたいか(SA)



1位クロス集計

属性	n	間過家を ご家族と 過ごす 時間を 大切に したい	旅行に 行きたい	るも たの い な （ ） な ） 趣 味 に 関 す	イ ベ ン ト な ど に 参 加	な カ ラ オ ケ や 映 画 館	外 食 し たい	た い き な も の を 購 入 し	い た め （ ） の を 購 入 し	貯 起 蓄 こ し か い （ ） 今 後 な 何	そ の 他	特 に な い	(%)
全体	500	15.6	33.0	7.4	5.8	11.2	5.6	14.4	0.8	6.2			
性別	男性	250	15.2	32.0	6.0	5.2	9.2	6.4	18.0	0.4	7.6		
	女性	250	16.0	34.0	8.8	6.4	13.2	4.8	10.8	1.2	4.8		
年代	18 - 29歳	140	19.3	37.1	7.1	8.6	5.0	4.3	15.0	0.0	3.6		
	30 - 39歳	210	12.4	34.3	10.0	5.2	10.0	5.7	15.7	1.4	5.2		
	40 - 49歳	150	16.7	27.3	4.0	4.0	18.7	6.7	12.0	0.7	10.0		

### 3-6 【今後】普段の生活の変化

- ・感染拡大の収束後の働き方はどうあるべきかを聞くと、「休暇制度の積極的な取得」が45.8%と多く、「生活実態にあわせた出退勤時間の導入」43.6%、「テレワークの定着」38.6%と続く。
- ・また、年代で見ると、ほとんどの項目で、若い世代になるほど割合が高くなっている。雇用の確保にあたっては、より企業の働き方改革の実践が求められる。
- ・収束後の不安では、「自分や家族の仕事・収入」が52.6%と高い。年代で見ると若い世代ほど割合が高くなっている。

感染拡大収束後の働き方はどうあるべきか(MA)

		n	テレワークの定着リモート	WEB会議の積極的な	兼業・副業の推進	退勤時間へのあわせ	生活実態に合わせた出	休暇制度の積極的な取	その他	変化の必要はない (%)
全体		500	38.6	33.4	27.4	43.6	45.8	0.4	20.8	
性別	男性	250	34.4	32.4	28.8	38.4	44.0	0.4	23.6	
	女性	250	42.8	34.4	26.0	48.8	47.6	0.4	18.0	
年代	18 - 29歳	140	47.9	42.9	32.1	49.3	50.7	0.0	15.0	
	30 - 39歳	210	37.1	30.0	27.6	43.8	48.1	0.5	21.0	
	40 - 49歳	150	32.0	29.3	22.7	38.0	38.0	0.7	26.0	

感染拡大収束後、どのようなことが不安か(MA)

		n	自分や家族の健康	自分や家族の仕事・収入	子どもの教育	友人等との交流機会の減少	その他	特に不安はない (%)
全体		500	40.2	52.6	32.0	29.6	0.6	13.4
性別	男性	250	36.8	52.0	25.6	28.4	0.0	15.6
	女性	250	43.6	53.2	38.4	30.8	1.2	11.2
年代	18 - 29歳	140	46.4	59.3	26.4	39.3	0.0	12.9
	30 - 39歳	210	38.1	53.8	35.2	27.1	0.5	10.0
	40 - 49歳	150	37.3	44.7	32.7	24.0	1.3	18.7

### 3-7 【今後】普段の生活の変化

- ・ 今後、社会全体としてどのような取組が重要かを1位から3位までの優先順位で聞くと、1位は「感染症対策の強化」で27.8%と多く、「雇用の確保」17.4%、「地域活性化のための経済対策」13.4%と続く。
- ・ 1位から3位までを通して見ると、感染症対策のほか「働き方改革の推進」「雇用の確保」が多い。
- ・ 1位の項目について、性別で見ると「感染症対策の強化」では男性に比べ女性が高く、「地域活性化のための経済対策」では男性が高い。また、年代で見ると、「働き方改革の推進」は、若い世代になるほど高くなる。

今後、社会全体としてどのような取組が重要になるか（1位から3位）(SA)

	n	感染症対策の強化	災害への備え	高齢者・障がい福祉の充実	子育て支援の充実	雇用の確保	働き方改革の推進	地域活性化のための経済対策	（ICT環境の整備など）	その他	あてはまるものはない (%)
1.1位	500	27.8	5.0	1.6	9.0	17.4	12.8	13.4	8.0	0.4	4.6
2.2位	500	14.2	9.0	3.8	8.8	16.8	17.6	11.4	12.8	0.2	5.4
3.3位	500	13.2	11.4	4.2	9.6	12.4	17.2	13.6	10.4	0.2	7.8

1位クロス集計

全体		500	27.8	5.0	1.6	9.0	17.4	12.8	13.4	8.0	0.4	4.6
性別	男性	250	24.4	4.0	1.2	8.8	17.6	11.2	18.4	9.2	0.8	4.4
	女性	250	31.2	6.0	2.0	9.2	17.2	14.4	8.4	6.8	0.0	4.8
年代	18 - 29歳	140	27.1	5.7	0.7	7.9	18.6	15.0	12.9	7.9	0.7	3.6
	30 - 39歳	210	25.2	3.8	1.9	11.9	18.6	13.8	13.8	7.6	0.5	2.9
	40 - 49歳	150	32.0	6.0	2.0	6.0	14.7	9.3	13.3	8.7	0.0	8.0